2024年７月期
第１四半期
決算補足説明資料

2023.12.11

PHARMA FOODS INTERNATIONAL CO.,LTD.
株式会社ファーマフーズ

JPX PRIME TOKYO
２９２９

2023 健康経営優良法人 Health and productivity

【免責事項】
本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。
これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

2024年７月期第１四半期
業績ハイライト

セグメント別ハイライト

	ポイント
連結業績	研究開発投資、新製品の開発、販売チャネルの開拓及び組織体制の強化に注力。研究開発費は前年同期比34.3%増。営業利益は前年同期比で28億円改善、中長期的成長のための投資と利益創出のバランスを重視。
BtoB事業	機能性素材は、「ファーマギャバ」が国内外で好調継続。 医薬品製造受託は、需要旺盛で受注及び利益に貢献。 今後注力の自社ブランド製品は、コンビニ販売チャネル拡大を準備中。
BtoC事業	ニューモ育毛剤等の医薬品・医薬部外品の売上高は前年同期比26.7%増。 顧客獲得効率、収益性及び品質を重視した「広告宣伝の適正化」の取り組みを継続する一方、新製品育成は積極的に行う。広告宣伝費は前年同期比32.4%減。
バイオメディカル事業	創薬パイプラインの拡充を推進。新規創薬シーズを持つアカデミアとの共同研究に積極的に取り組み、アラジンテクノロジーによる研究開発が順調に進捗。
中期経営計画2026 新価値創造 1K	5年間で50億超の投資計画に対し、経産省所管の「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトによる支援決定。繊維、農業及び電子材料素材など幅広い産業利用に適した特性を持つ「卵殻膜素材」を開発・量産化するための投資を行う。

連結売上高

(百万円)

	2023年 7月期第１四半期	2024年 7月期第１四半期	増減
BtoB事業	1,869	**2,233**	19.4%増
BtoC事業	15,095	**13,846**	▲8.3%
バイオメディカル事業	59	**57**	▲4.4%
その他	4	**4**	▲0.8%
合計	17,030	**16,142**	▲5.2%

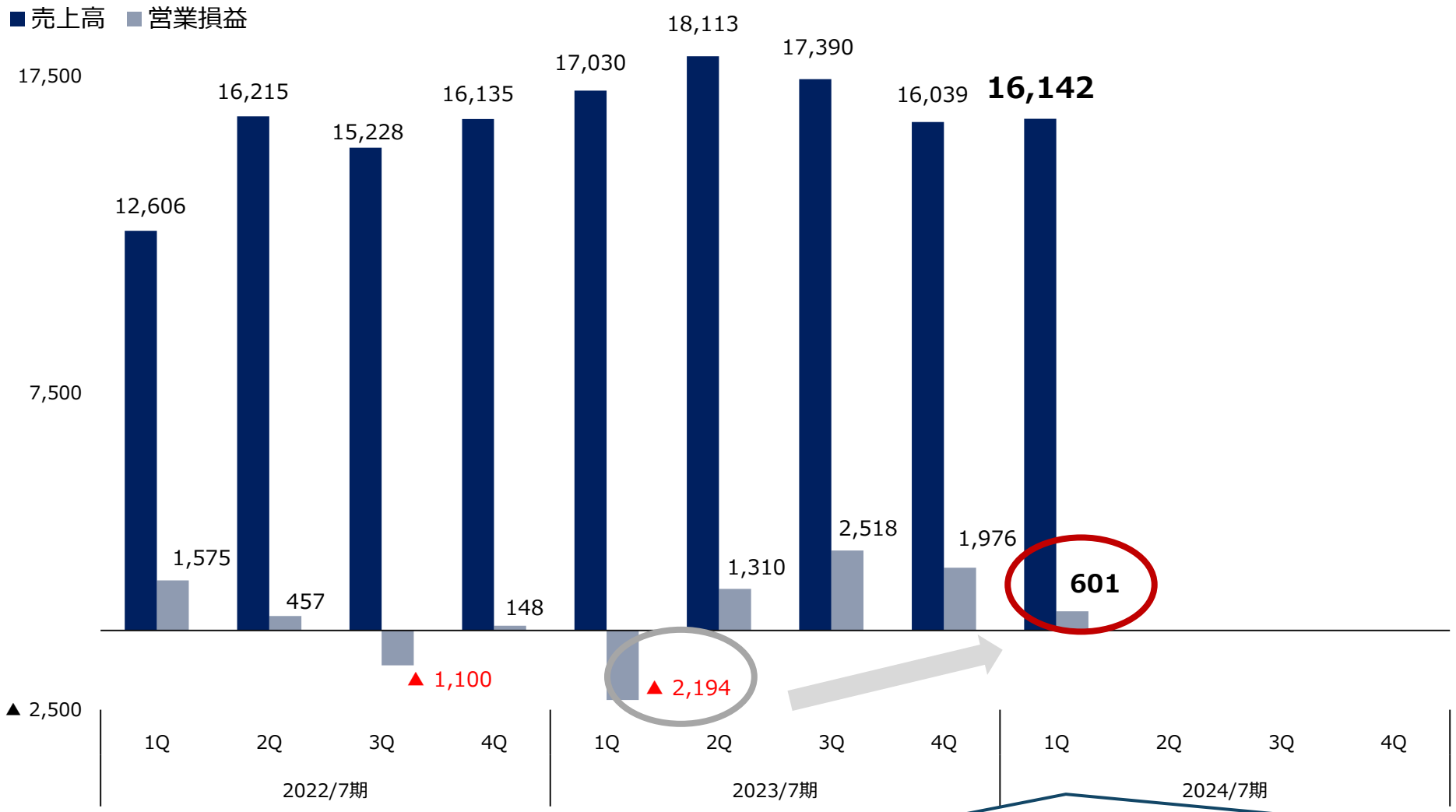
セグメント利益

(百万円)

	2023年 7月期第１四半期	2024年 7月期第１四半期	増減
BtoB事業	376	**461**	22.4%増
BtoC事業	▲2,100	**616**	+2,716
バイオメディカル事業	▲69	**▲121**	**▲52**
その他	▲1	**▲4**	**▲3**
調整額（全社費用等）	▲400	**▲349**	**50**
合計	▲2,194	**601**	+2,796

連結四半期業績推移

(百万円)



営業利益は前年同期比で28億円改善。中長期的成長のための投資と利益創出のバランスを重視。

B to B 事業

自社ブランド製品の育成、メーカーへの進化を目指す

明治薬品株式会社

2023年9月１日～

全国のドラッグストア約12,891店舗（配荷率68.5%※）で販売開始

※経済産業省「商業動態統計調査」2023年9月のドラッグストア店舗数に基づく

©Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK

アイテム別売上

(百万円)

	2022/7期					2023/7期					2024/7期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
機能性素材	252	431	391	633	1,708	375	440	564	620	2,002	**504**				504
機能性製品	252	169	242	261	925	289	484	449	145	1,368	**199**				199
CMO	-	1,672	948	1,021	3,642	892	1,104	1,076	1,117	4,190	**1,151**				1,151
CHC	-	869	466	465	1,801	312	172	294	78	857	**377**				377
合計	504	3,143	2,048	2,382	8,079	1,869	2,201	2,384	1,962	8,418	**2,233**				2,233

※ 機能性素材　：PharmaGABA、ボーンペップ等
※ 機能性製品　：OEM、越境EC、自社ブランド製品などの最終製品を主にBto[BtoC]チャネルで販売
※ CMO（Contract Manufacturing Organization）：医薬品製造受託機関
※ CHC（Consumer Health Care）：ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売

医薬品製造受託は、製薬企業のOTC医薬品の需要が継続し、受注及び利益に貢献。
機能性素材のうち、ファーマギャバは前年同期比48.4%増。
中長期的の戦略分野である自社ブランド製品は、大手コンビニの販売チャネル拡大を準備中。

機能性表示食品受理件数

関与成分別受理件数ランキング

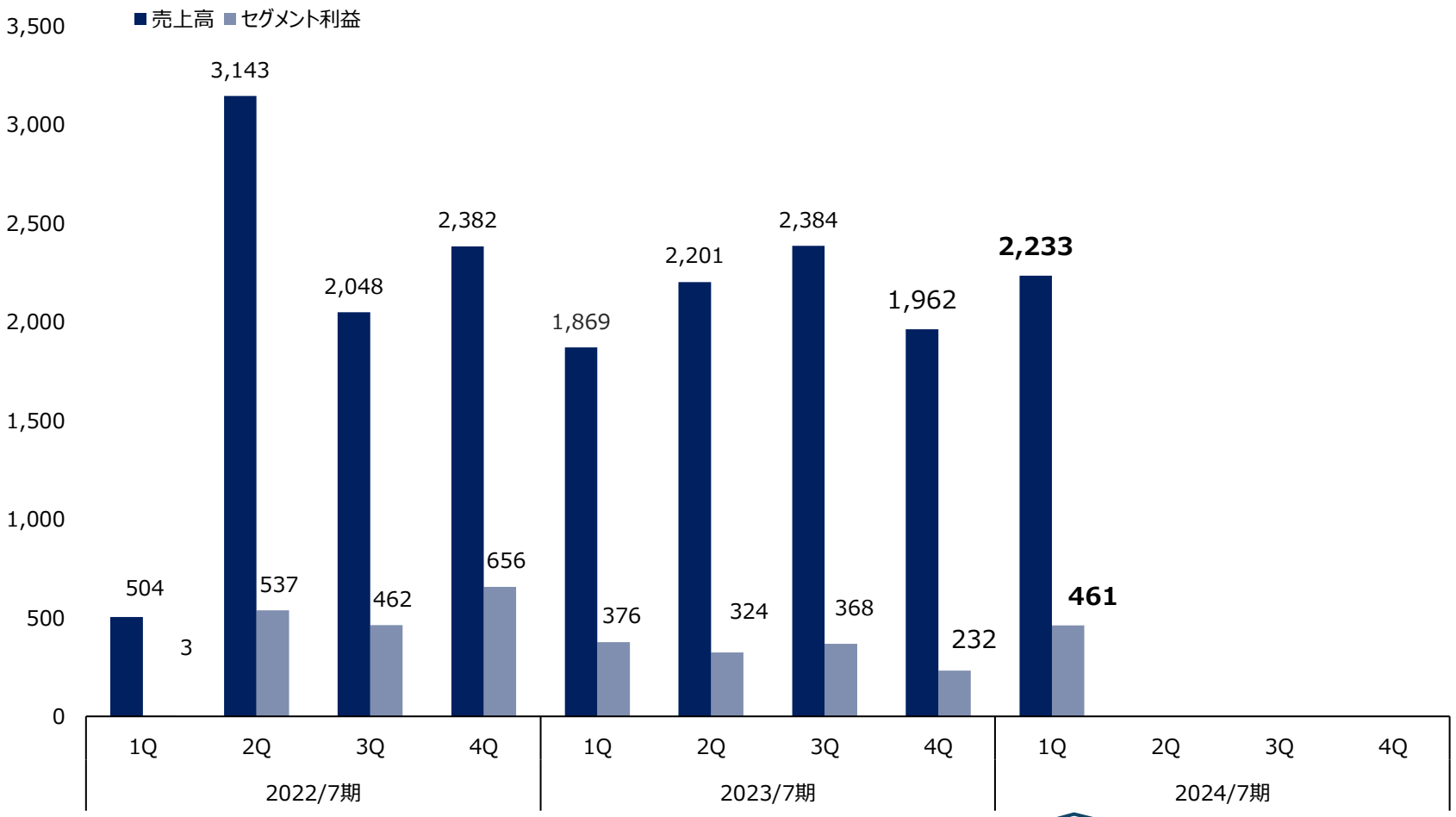
(件)

順位	機能性関与成分	受理数
1	GABA	1,018
2	難消化性デキストリン	492
3	ルテイン・ゼアキサンチン	402
4	ビフィズス菌	388
5	DHA/EPA	347
6	ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン	303
7	イチョウ葉（フラボノイド配糖体、テルペンラクトン）	200
8	葛の花由来イソフラボン	165
9	アスタキサンチン	171
１０	L-テアニン	151

2023.10.31 現在　当社調べ

四半期業績推移

(百万円)



機能性素材「ファーマギャバ」や医薬品製造受託が売上及び利益に貢献。

B to C 事業

主な新製品（2023年8月～10月）

㈱ダイセルの通信販売事業を承継、「ピュアセラミド＋」など販売開始

BODY-GA
薬用デオドラントクリーム

ニューモ
ヘアパウダー　ヘアミスト

ピュアセラミド＋

CRM施策に注力、システム導入で効率化を推進していく

既存顧客を分析し、適切なアプローチで良好な関係を構築。

第１四半期では広告宣伝費4.3億円を投下。

→ MR※は0.8前後で推移

※Media Ration：初回売上高÷媒体費

施策例：

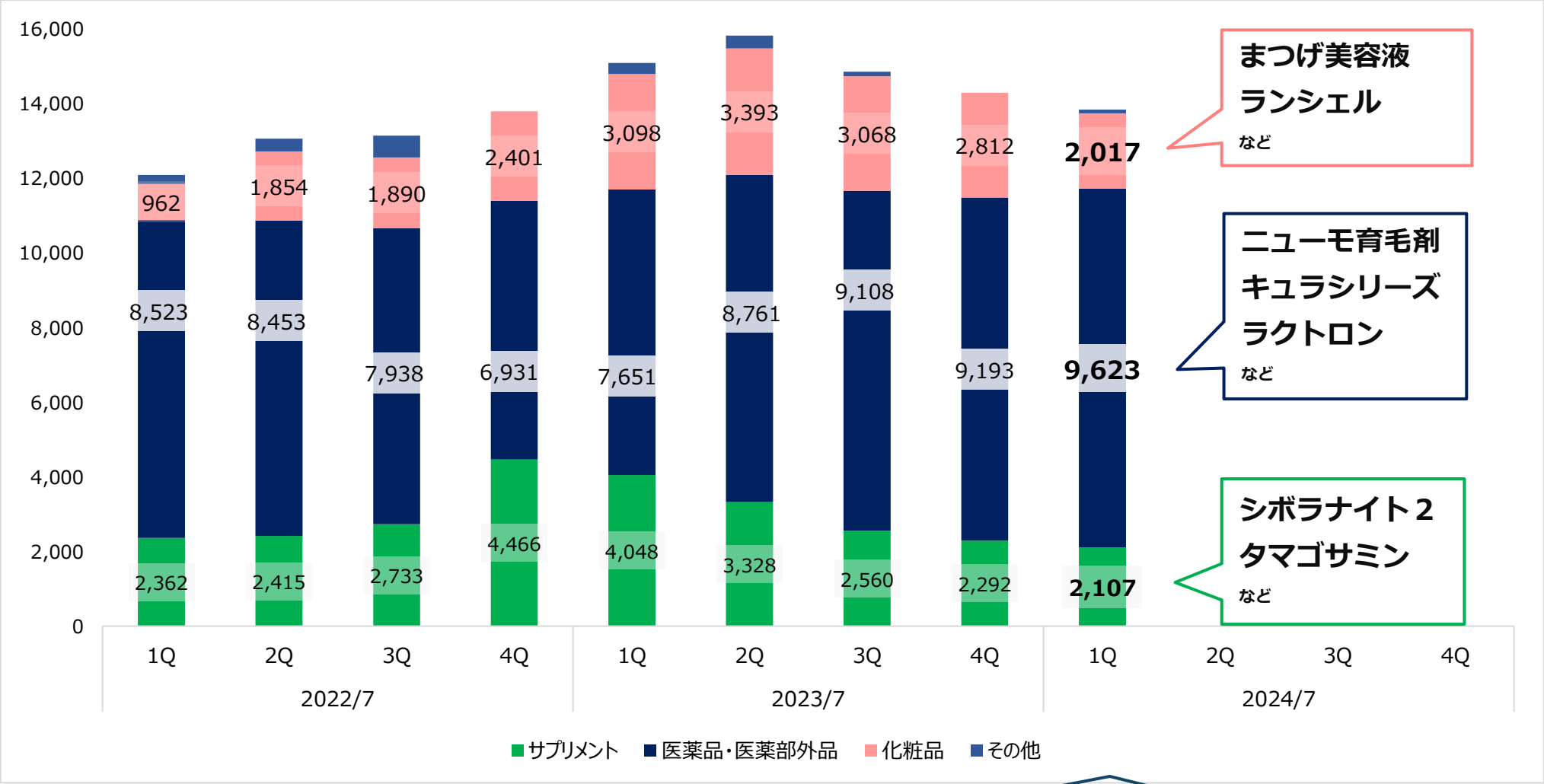
ニューモ育毛剤利用者への医薬品「ニューZ」の提案

お試し購入顧客への定期購入促進

CRMマーケティングシステムを導入し、今後既存顧客580万件に対しSMS・メルマガを自動配信する

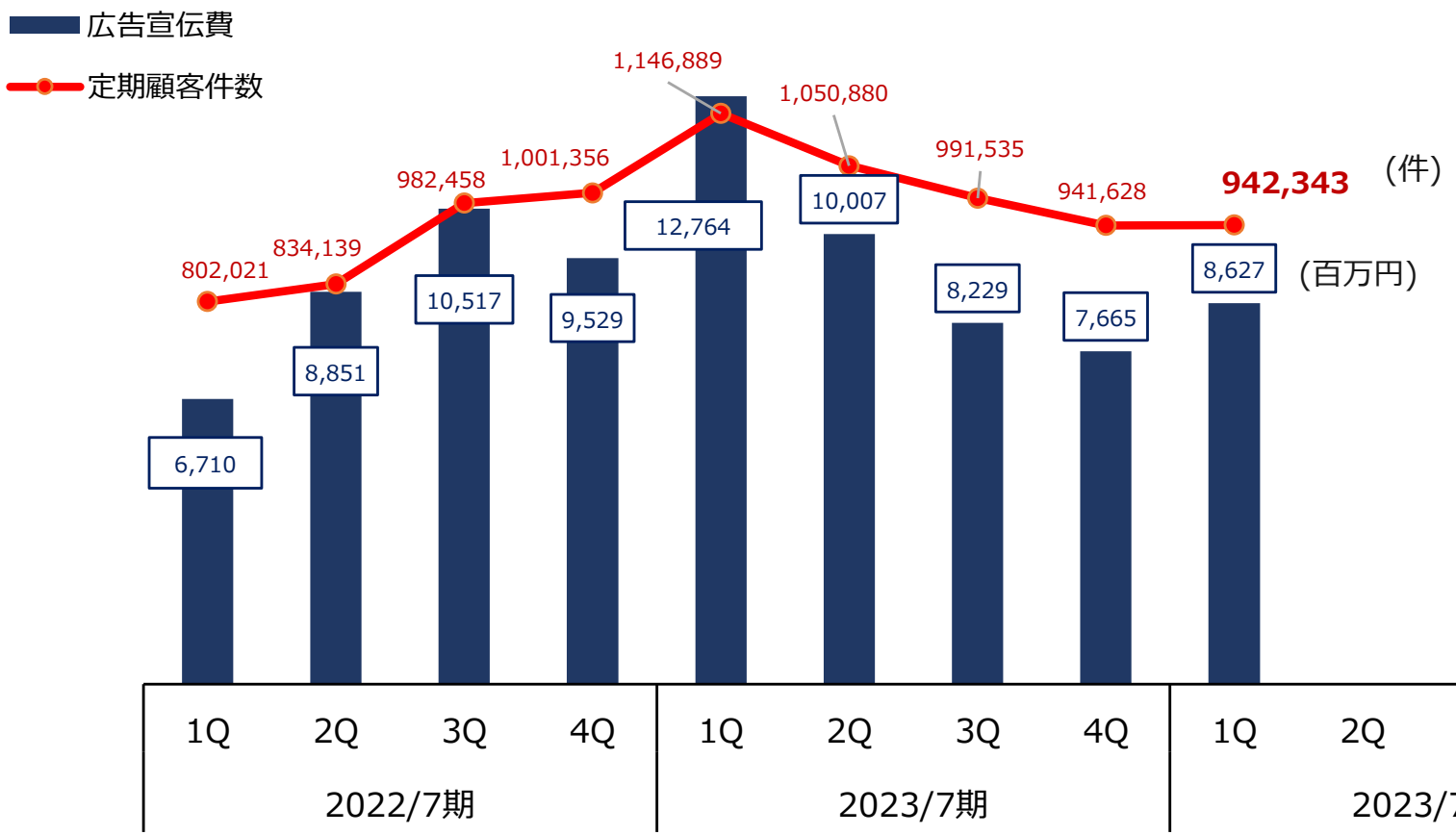
カテゴリー別売上高

(百万円)



ニューモ育毛剤をはじめ医薬品・医薬部外品の売上高は前年同期比26.7%増。

広告宣伝費と定期顧客件数



主要製品の定期顧客件数

まつげ美容液	： 54,445
ランシェル	： 24,539
カラーシャンプー	： 22,709

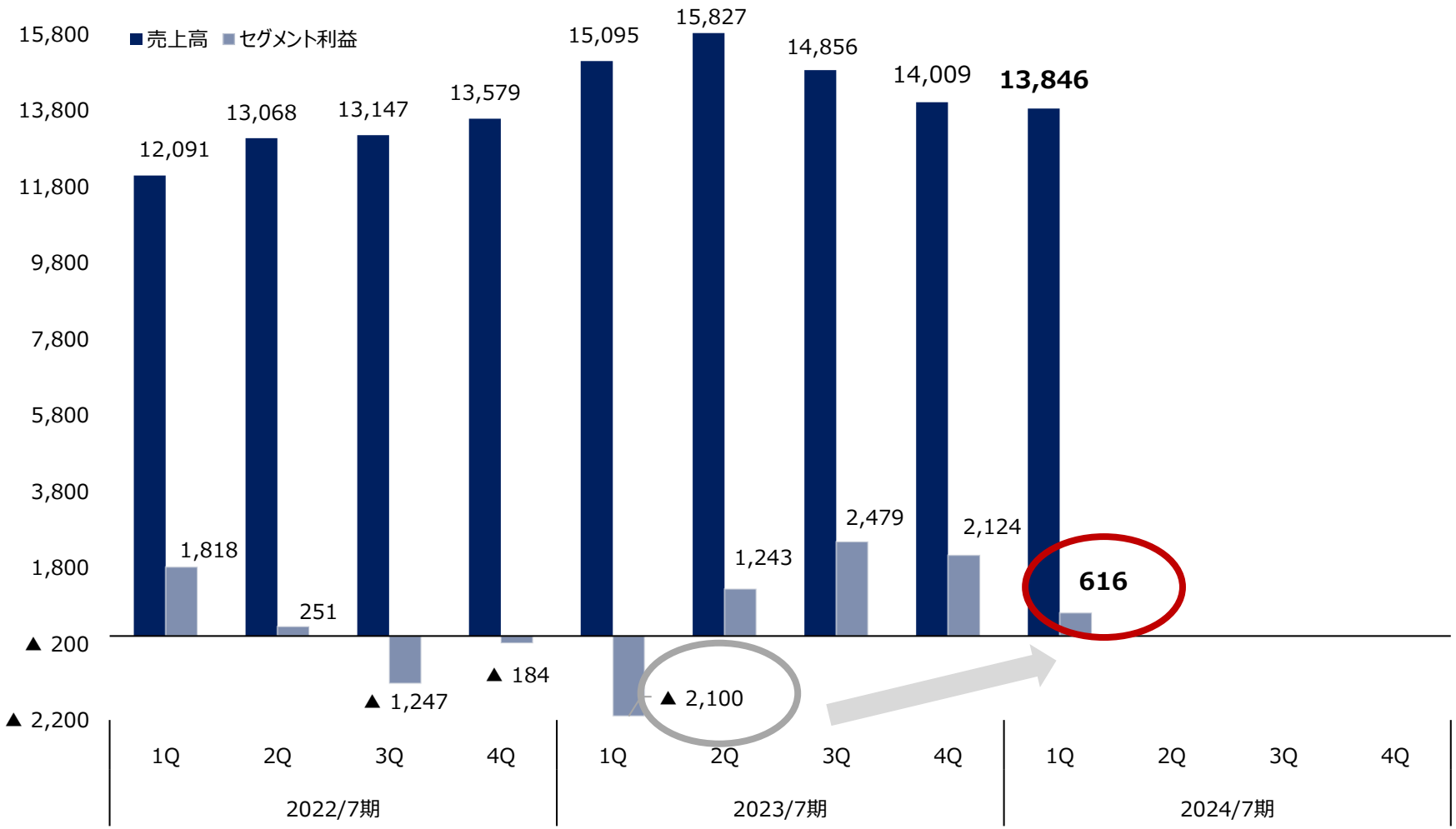
ニューモ育毛剤	：415,588
ニューZ	： 13,614
キュラシリーズ	：113,720
ラクトロン錠	： 57,812
防風通聖散 創至聖	： 22,834

シボラナイト２	： 61,021
タマゴサミン	： 32,268

CRM施策、広告表現の改善及び応対品質向上を通じて、広告宣伝費の効率を高める

四半期業績推移

(百万円)

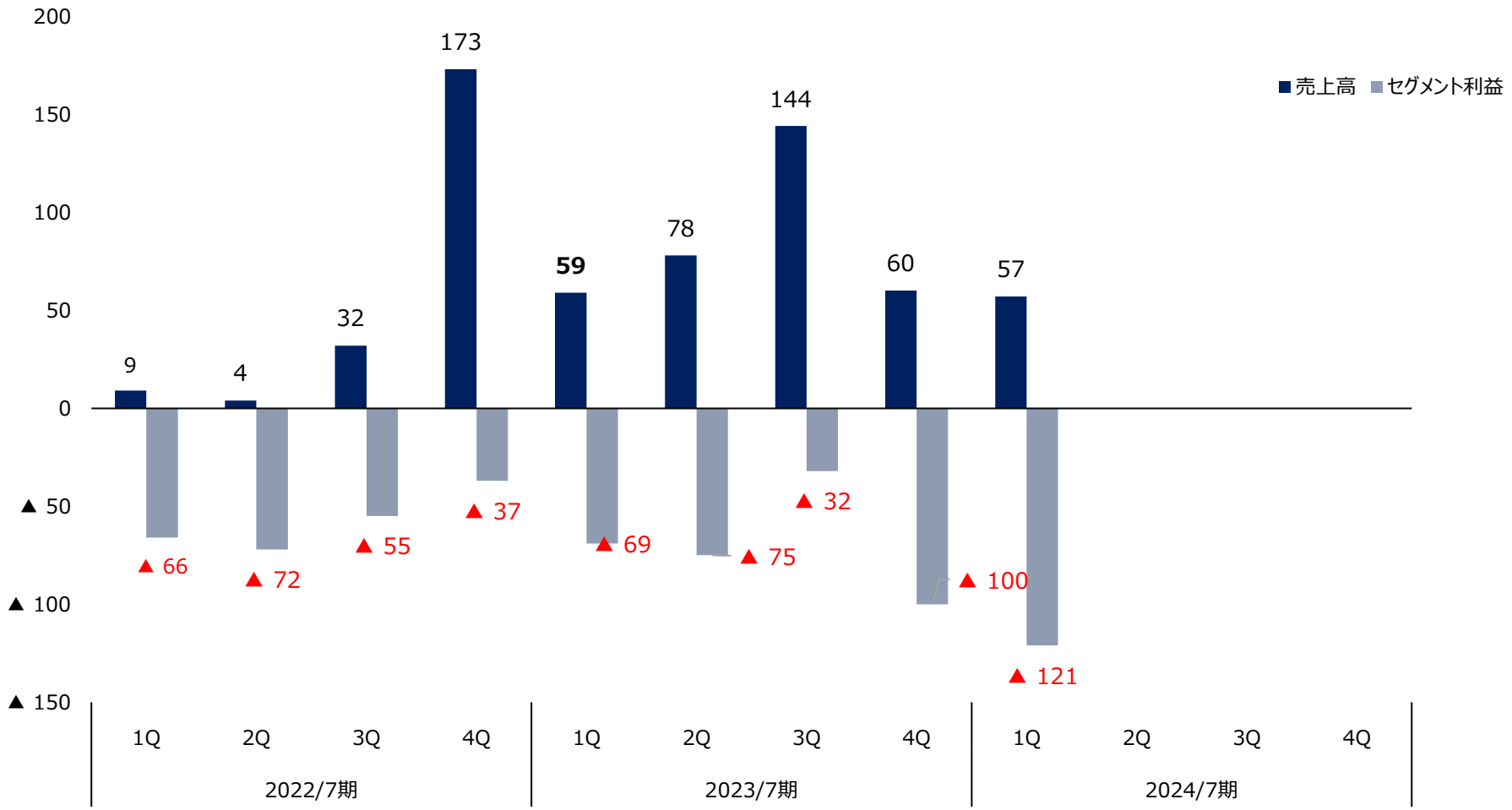


広告費用の最適化を継続し、広告宣伝費は前年同期比32.4%減、セグメント利益は前年同期比27億円増加。最適化を徹底しながら、主力製品育成のための投資は積極的に行う。

バイオメディカル事業

四半期業績推移

(百万円)



アラジンテクノロジーを用いた創薬パイプラインの拡充を最優先課題として取り組む。
新規創薬シーズを持つ大学や公的研究機関との共同研究が順調に進捗。

中期経営計画2026

「新価値創造 1K」
プロジェクト

「バイオものづくり革命推進事業(NEDO※)」採択

※　国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

SDGsに貢献する卵殻膜の総合的活用プラットフォーム（5年間50億円超予算）を構築

鶏卵263万t/年
（日本国内の鶏卵の年間生産量）

卵殻・卵殻膜
複合物
26万t/年

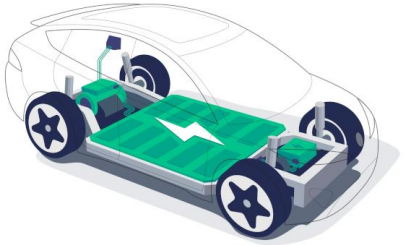
卵殻膜
1万t/年

液状化卵殻膜
各産業で応用可能な
機能性たんぱく質

ハイブリッド繊維

卵殻膜衣類
ovoveil

卵殻膜ナノファイバー



電池素材

卵殻膜ペプチド

バイオ
スティミュラント

卵殻膜の総合的活用プラットフォーム構築のパートナー

研究開発から社会実装までを見据えた連携組織

1)	国立大学法人信州大学	（長野）
2)	(株)バッカス・バイオイノベーション	（神戸）
3)	ダイワボウレーヨン(株)	（大阪）
4)	三洋化成工業(株)	（京都）
5)	(株)浅井農園	（三重）
6)	(株)ベジ・ドリーム栗原	（仙台）

2024年7月期業績予想

新価値創造を社会実装まで見据えた投資を開始する

(百万円)

	2023年 7月期	2024年 7月期予想
売上高	68,572	72,047
営業利益	3,610	3,338
経常利益	3,540	3,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,081	2,784

卵殻膜を用いた繊維、電池及びアグリ向け高付加価値素材に対して、
今後将来の社会実装まで見据えた、本格的な研究開発投資及び設備投資を行っていく。

株主還元

	2023年 7月期	2024年 7月期予想
一株あたり 年間配当金	22円	**20円**
配当金総額	6.3億円	5.7億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	30.8億円	27.8億円
配当性向	20.6%	**20.7%** ※
自己株式取得	3億円	**－**
総還元性向	30.3%	**20.7%** ※

※ 2023年9月11日発表の業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益に基づく

株主還元方針

当社は、企業の成長性と収益性を両立させる事業方針の下、研究開発、広告宣伝及びM&A等に対する積極的な投資を拡大させながら、株主様に対する還元策として配当等を積極的に充実させていくことを基本方針としております。この方針の下、成長投資の推進、財務健全性の確保及び株主還元の強化のバランスを考慮し、自己株式取得を含む**総還元性向20%**を株主還元策の目安としております。

Appendix

事業内容

免疫　老化　神経

B to B 事業

機能性素材
医薬品製造受託

PharmaGABA®
明治薬品株式会社

B to C 事業

発明企業の通販事業

タマゴ基地®
TAMAGOKICHI

創薬事業

Drug Discovery
プロテオーム解析

ALAgene®

“天然由来”の原料から機能性素材を探索

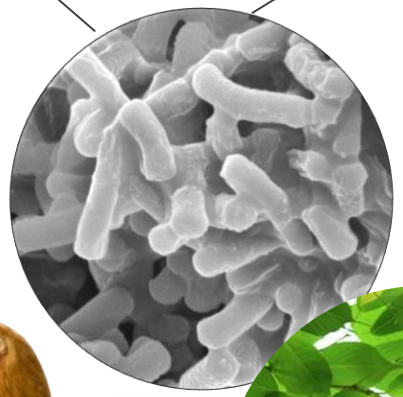
GABA

PharmaGABA®

乳酸菌発酵エキス由来
機能性表示食品対応素材

セレプロン

酵母由来の美白素材



バナファイン

未利用のバナナ由来の
免疫賦活化素材

セラミノール

未利用のワイン澱(オリ)
由来の美容素材

HAS-II

鶏足由来の
軟骨基質産生促進素材

リピスマート

未利用のゴマ由来の
脂質吸収阻害素材

“タマゴ”から食品・化粧品の機能性素材を探索

iHA（アイハ）

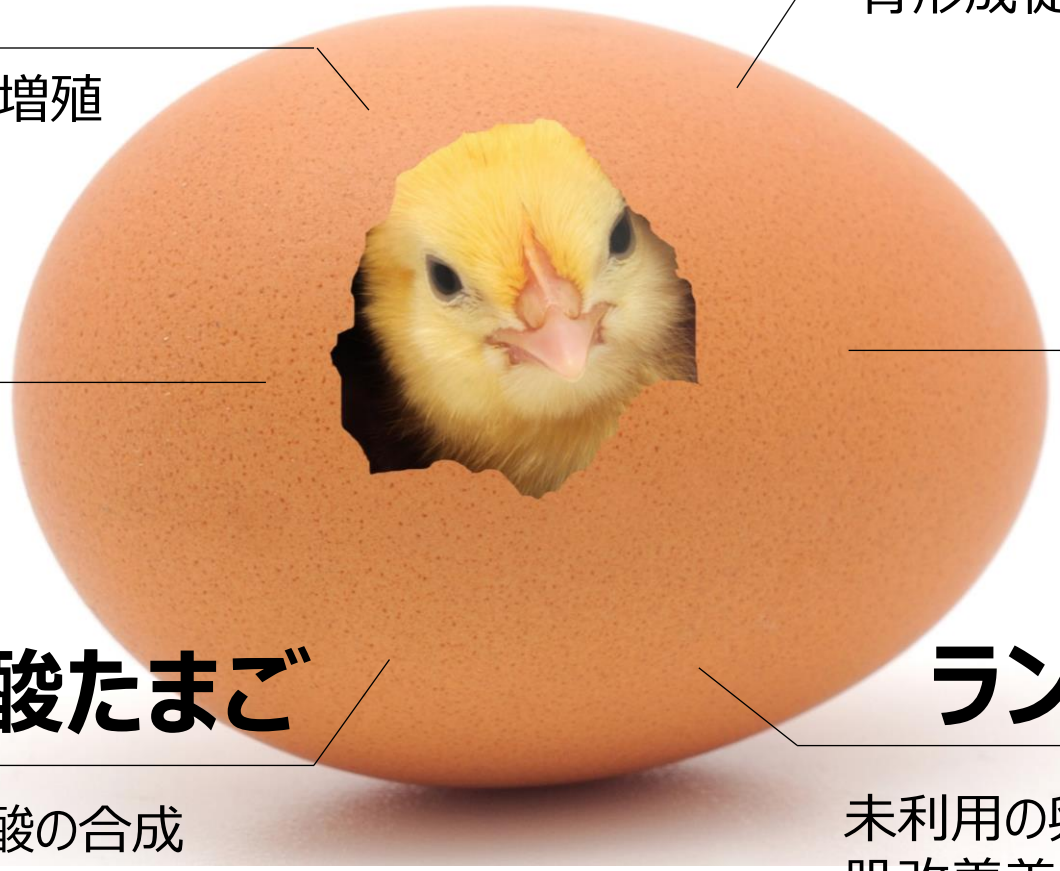
軟骨増殖

ボーンペップ

骨形成促進

HGP

育毛促進



ランペップ

血流改善

葉酸たまご

核酸の合成

ランシェル

未利用の卵殻膜由来の
肌改善美容素材

“発明企業の通販事業”として、健康食品・化粧品・医薬品等を販売

健康食品

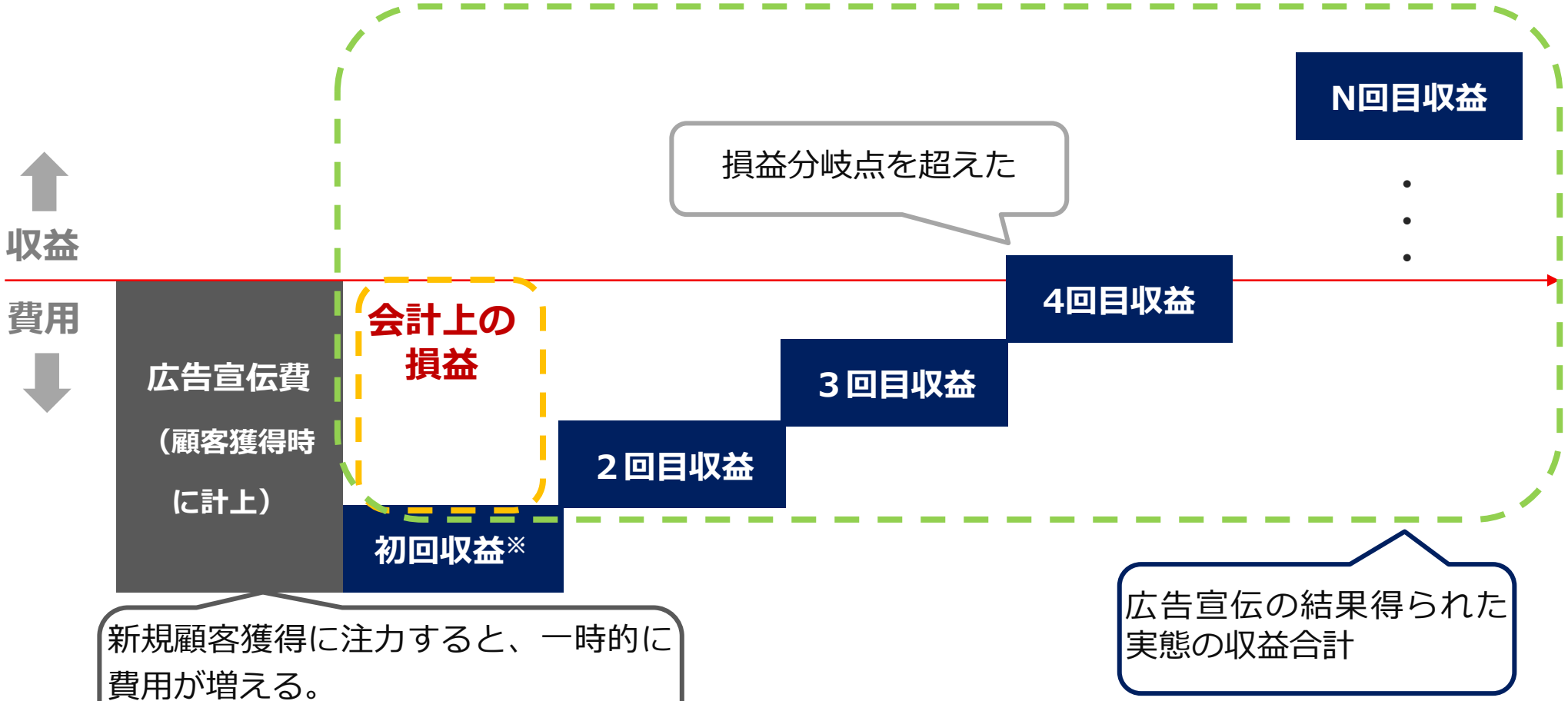
化粧品

医薬品・医薬部外品

通信販売事業の収益構造

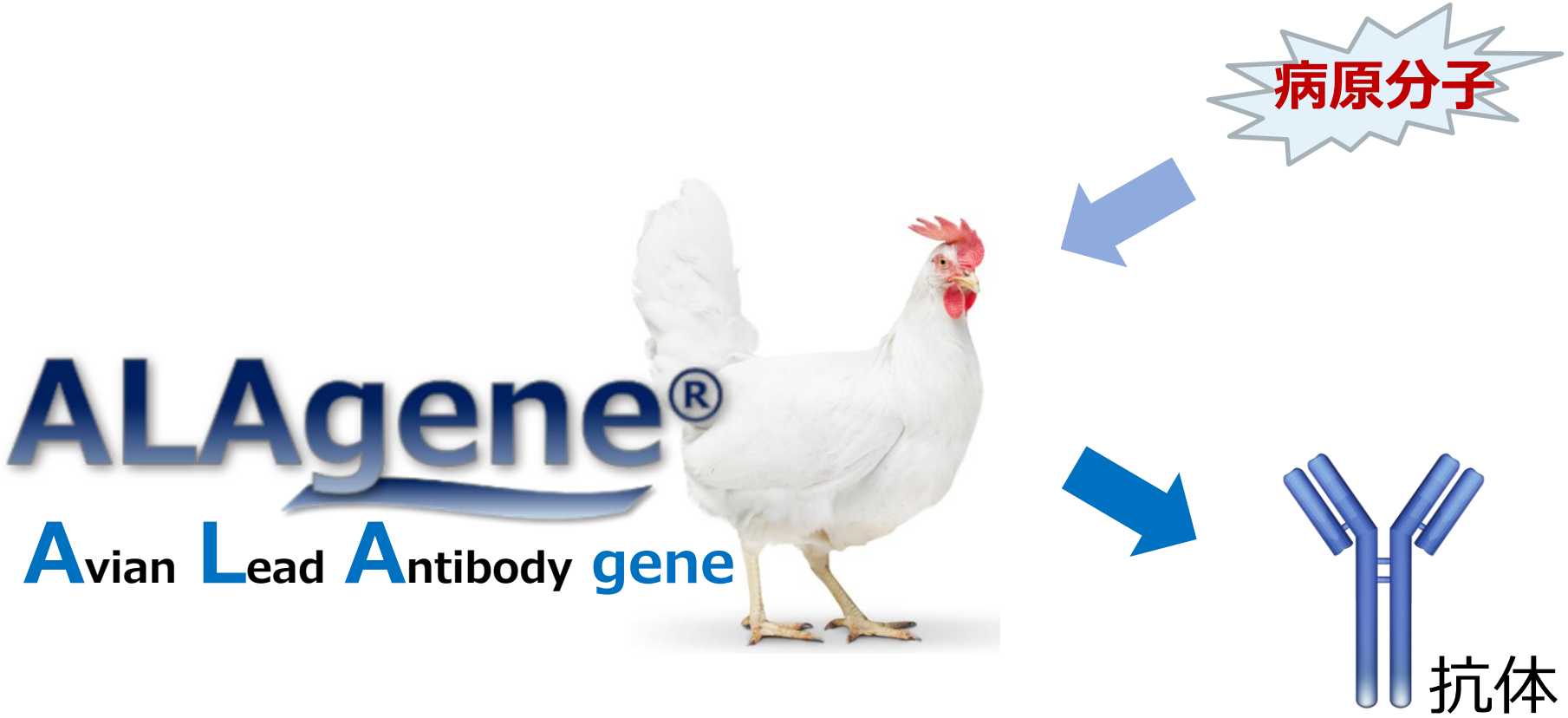
広告宣伝費は、顧客獲得時に計上するものの、売上高は定期コース継続中にわたって計上し、売上高と広告宣伝費の発生時期が異なる構造

収益構造のイメージ



※ 売上高から原価、運賃、決済手数料等の変動費を控除した金額

“ニワトリ”から抗体医薬品を作る



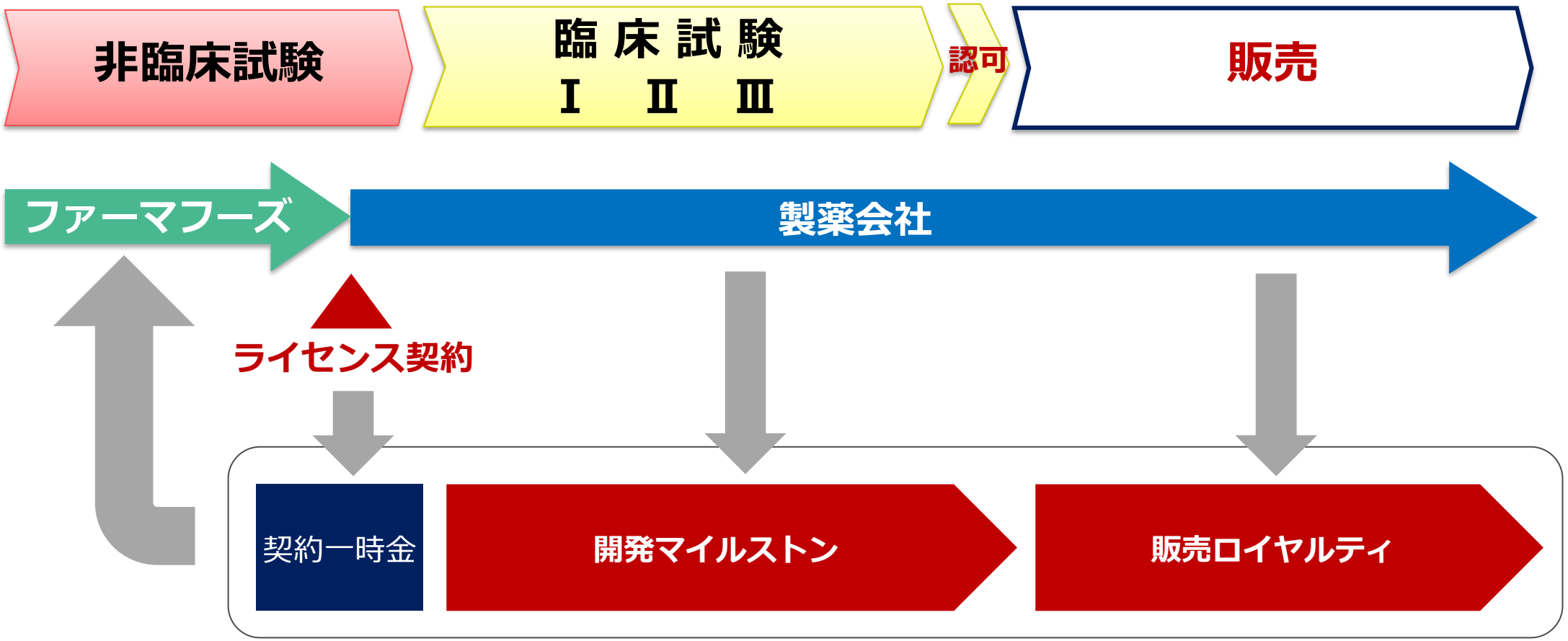
1 **作製困難抗体**

2 **高結合力**

3 **ヒト化抗体**

ビジネスモデル

当社の特許を製薬企業へ実施許諾することにより、ライセンス収入を得る



自己免疫疾患治療マーケットは５兆円以上

関節リウマチ治療薬のマーケット

分類	製品名	世界売上高（2020年度）	販売会社
抗ＴＮＦα抗体	ヒュミラ	1兆3,062 億円	米AbbVie社／エーザイ
可溶性ＴＮＦα／ＴＮＦβ受容体製剤	エンブレル	4,743 億円	Amgen社／Pfizer社／武田薬品工業
Ｔ細胞選択的共刺激調節薬	オレンシア	2,868 億円	米Bristol-Myers Squibb社／小野薬品工業
抗ＴＮＦα抗体	シンポニー	2,774 億円	米Johnson & Johnson社／米Merck社／田辺三菱製薬
ペグ化抗TNFα抗体Fab断片製剤	シムジア	2,289 億円	ベルギーUCB社/アステラス製薬
抗IL-6受容体抗体	アクテムラ	2,115 億円	スイスRoche社/中外製薬
抗ＴＮＦα抗体	レミケード	1,686 億円	米Johnson & Johnson社／米Merck社／田辺三菱製薬

出典：日経バイオテクＯＮＬＩＮＥ　2021年12月７日掲載

M&A、アライアンスに注力

2021年3月	三洋化成工業(株)	▶資本業務提携（約４億円） 化粧品、アグリニュートリション、医薬品等の研究開発及び販売の連携
2021年7月	ロート製薬(株)	▶資本業務提携（約６億円） ヘルス＆ビューティケア及び食分野の製品開発、生産、販売の連携
2021年8月	明治薬品(株)	▶完全子会社化（約23億円） 医薬品製造、ドラッグストア販路等の経営資源を活用
2021年8月	(株)アイ・ブレインサイエンス	▶第３者割当増資の引受（６千万円） 認知機能低下の早期発見及びその改善のための機能性食品の組み合わせ）
2022年4月	(株)アンテグラル	▶吸収分割 当社の抗体作製技術「アラジン テクノロジー」と、アンテグラルが持つプロテオーム解析技術を組み合わせて創薬ターゲットの探索・同定をより強化
2022年5月	オンキヨー(株)	▶持分法適用関連会社化 健康・医療機器の販売及びＡＩを活用した創薬標的探索などの新規事業を推進
2022年5月	(株)PF Capital	▶子会社化 創薬事業及びヘルスケア事業の技術獲得を目的にCVC運営会社を譲受け
2023年3月	(株)エルビー	▶資本業務提携 機能性素材を活用した飲料等の共同開発、共同開発製品に関するエルビーの工場における生産、大手流通等への共同営業による販売強化
2023年10月	(株)ダイセル	▶事業譲渡 ヘルスケア通販事業の譲り受け